

【事業実績】

1. デジタルアーカイブ・オンライン化

(1) データベース構築

代表館および連携館の所蔵標本を網羅して登録できることを視野に、現生生物（セキツイ動物、無セキツイ動物、植物、菌類・細菌類を含む）、古生物・化石（セキツイ動物、無セキツイ動物、植物、菌類・細菌類を含む）、岩石・鉱物（岩石、鉱物を含む）、考古（人工遺物、自然遺物を含む）、民族（暮らし・道具、美術・音楽・工芸、遺物・資料を含む）の分野を横断するデータベースを構築した。

(2) 標本データデジタル化

代表館と連携館で3Dデータを計178点、および二次元画像を計4,081件作成した。各館の特徴的な標本・資料と連携の概要は以下のとおりである。

①北海道大学総合博物館

パラサウロロフスの全身骨格やオホーツク文化の骨偶（図1A）などの3Dデータを作成した。またテシオコザクラやレブンアツモリソウのタイプ標本や魚類標本の生鮮時写真（図1B）などの二次元画像を作成した。また、札幌市円山動物園と連携し、カバやホッキョクグマなどの骨標本を作成し、デジタルデータ化した。

②群馬県立自然史博物館

アンフィコティルスの頭骨（図1C）やトリケラトプスの全身骨格（図1D）などの3Dデータを作成した。

③北九州市立自然史・歴史博物館

ウマとそれに騎乗したヒトの全身骨格（図1E）や、木曾馬の全身骨格などの3Dデータを作成した。

④むかわ町穂別博物館

カムイサウルスの上顎骨（図1F）や前頭骨などの3Dデータを作成した。

⑤北海道立北方民族博物館

ナーナイの木製食器（図1G）や北西海岸先住民の丸木船などの3Dデータを作成した。また文化人類学・ジェンダー学の分野で活躍した原ひろ子博士が、1960年代にカナダノースウエスト準州における調査で採集した植物標本（図1H）の二次元画像を撮影した。撮影にあたり、北海道大学総合博物館と連携し、標本を同定した。この成果に基づき、2024年度に企画展および公開講演会の実施を予定している。

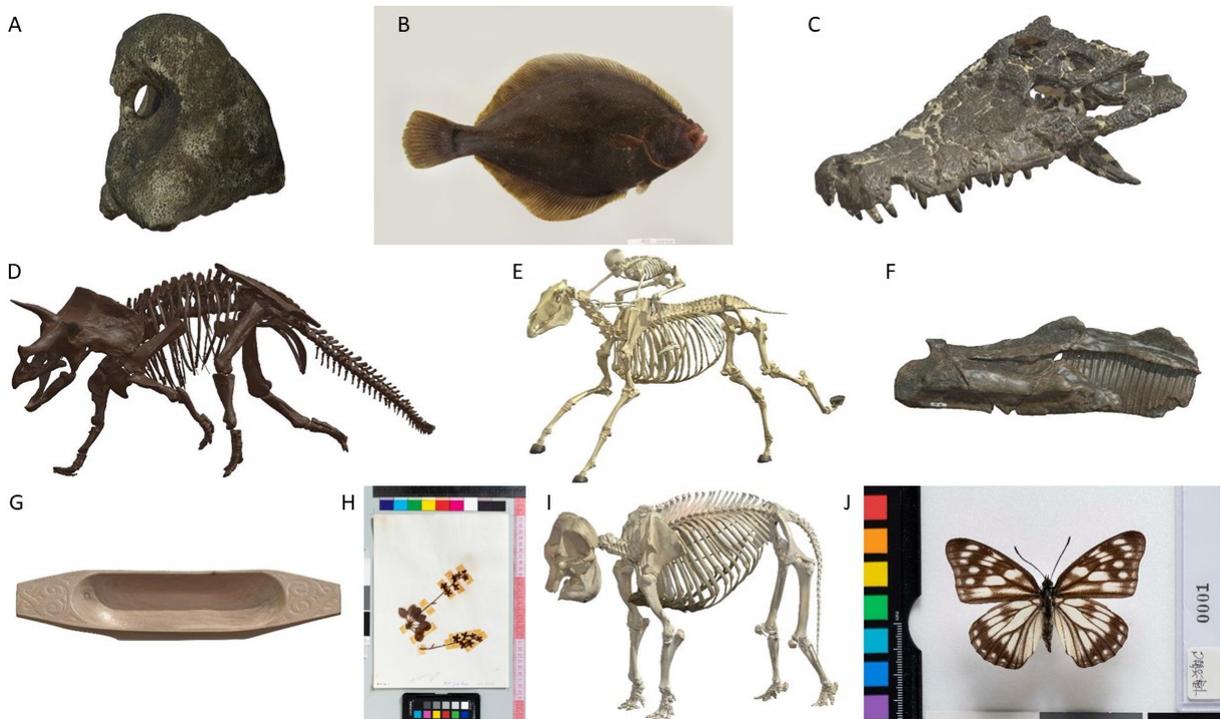


図1. 代表館と連携館で作成した3Dデータおよび二次元画像

A. オホーツク文化の骨偶、B. マツカワ、C. アンフィコティルスの頭骨、D. トリケラトプスの全身骨格、E. ウマとそれに騎乗したヒトの全身骨格、F. カムイサウルスの上顎骨、G. ナーナイの木製食器、H. 原博士が採集した *Pyrola grandiflora* (ツツジ科) 標本、I. アジアゾウの全身骨格、J. ゴマダラチョウ

⑥札幌市円山動物園

アジアゾウ（図 1I）やマサイキリンの全身骨格などの 3D データを作成した。

⑦札幌市博物館活動センター

サッポロカイギュウの全身骨格やタキカワカイギュウの頭骨などの 3D データを作成した。またゴマダラチョウ（図 1J）やホテアツモリソウなどの二次元画像を作成した。

（3）データベース・ポータルサイト公開

1 月 31 日にデジタル・ミュージアム「みんなの博物館」（<https://minna-museum.jp/>）の公開を開始した（図 2）。2 月 22 日現在、計 8,508 点（3D データ 178 点、二次元画像 8,330 点）を公開している。1 月 31 日から 2 月 22 日のページビュー（PV）は、トップページが 1,637PV、検索結果一覧ページが 5,308PV を記録した。



図 2. デジタル・ミュージアム「みんなの博物館」のトップページ

2. 学芸員等の人材育成

（1）写真撮影技術研修会

北海道立北方民族博物館が幹事館となって城野誠治氏（東京文化財研究所）を講師に招き、「文化財写真研修会」（12 月 7 日（木））をオンライン開催した。写真撮影にあたっての照明や背景の重要性に加えて、資料や標本についての知識やどこを見せるかの選択の重要性について学んだ。代表館・連携館の学芸員・学生など 21 名が参加した。

（2）デジタルデータ取得手法講座

坂田雅章氏・大平牧人氏（ともに TOPPAN 株式会社）に講師を依頼し、11 月 21 日（火）にむかわ町穂別博物館、11 月 28 日（火）に北九州市立自然史・歴史博物館、12 月 7 日（木）に群馬県立自然史博物館、12 月 12 日（火）に札幌市博物館活動センター、12 月 13 日（水）に札幌市円山動物園、12 月 21 日（木）に北方民族博物館、12 月 22 日（金）に北海道大学総合博物館でそれぞれ 3D データ取得を中心としたデジタルデータ取得手法講座を実施した。

3. 教育・普及

（1）学生向けデジタルデータ取得手法教育

代表館の学生を対象にスマートフォンやタブレットを用いた 3D データ取得のための手法、デジタルカメラを用いた 2D データの撮影・管理手法を適時教授した。これにより当初目標（2,300 点）よりも多くのデジタルデータの取得に至った。

（2）一般向けデータベース PR 動画の公開

一般向けにデータベースの PR 動画を作成し、2 月 6 日に YouTube にアップして公開（<https://www.youtube.com/watch?v=79-f274zj28>）を開始した（図 3）。2 月 24 日現在、視聴数は 336 回を数えた。



図 3. 「みんなの博物館」の紹介動画